

新たな取り組み

◎再構築した『優先的に取り組む連携課題』等の推進

- ・新たに抽出した課題も含め「7つの優先的に取り組む連携課題」と「2つの継続的に取り組む連携課題」のもと、課題の検討、取り組みの推進

◎『優先的に取り組む連携課題』の新たな総合調整の推進

- ・災害廃棄物の処理に関して、「災害廃棄物処理のための広域連携体制」と「総合啓開のオペレーション計画」との調整

◎その他関係機関が連携した取り組み

- ・初動時医療対策のあり方・・・具体計画※に基づき、医療活動における迅速な参集や、医療搬送体制等について検討

具体計画※ 南海トラフ地震防災対策推進基本計画 具体的な応急対策活動に関する計画(H27.3.30中央防災会議幹事会)

継続的な取り組み

◎『優先的に取り組む連携課題』の新たな総合調整の推進

- ・災害時の救援・復旧ネットワークの構築

◎その他関係機関が連携した取り組み

- ・関係機関による初動時のヘリ等活動の連携体制の構築
- ・民間企業・NPO等との連携推進(防災意識啓発イベント等)
- ・広域医療搬送訓練を含めた関係機関の連携方策検討
- ・広域防災拠点等の利用調整の具体化

◎南海トラフ巨大地震対策中部ブロック協議会 広域連携防災訓練の実施

- ・平成28年9月1日前後 : 広域連携実動訓練
- ・平成28年11月5日「津波防災の日」前後 : 緊急災害現地対策本部運営訓練

※訓練内容は、調整中。

◎第4回 中部ライフガードTEC2016の開催

- ・会期:平成28年6月2日(木)・3日(金)
- ・会場:ポートメッセなごや(名古屋市国際展示場)

「優先的に取り組む連携課題」の新たな総合調整の推進

新たな取り組み

災害廃棄物の処理に関して、「**災害廃棄物処理のための広域連携体制**」と
「**総合啓開のオペレーション計画**」との調整

新たな総合調整の推進

優先的に取り組む連携課題

「**災害廃棄物処理のための広域的
連携体制の整備**」
(幹事機関: 中部地方環境事務所)

災害廃棄物処理計画の策定など

「**防災拠点を結ぶネットワーク形成と
総合啓開のオペレーション計画の策定**」
(幹事機関: 中部地方整備局)

道路啓開、航路啓開、排水計画策定など

総合調整

上記連携課題に関連する共通課題について、それぞれの検討内容を持ち寄り連携して取り組むとともに、その内容をフィードバックすることで上記連携課題の達成につなげます。

STEP1

・日頃からの情報共有の推進と発災時における連絡体制の構築

STEP2

・早期復旧に向けた災害廃棄物処理の計画や体制を検討

STEP3

・訓練を通じて、実際の運用に向けた行政間の連携、行政と事業者等の連携を確認

その他関係機関が連携した取り組み（初動時医療対策のあり方）

背景

- ◆ 戦略会議全ての機関に対するアンケート結果より、「医療支援の連携」が新たに考えられる課題の1つとして顕在化した。
- ◆ 南海トラフ地震防災対策推進基本計画 具体計画(平成27年3月)の主要な計画の1つとして「医療活動」が取り上げられた。



甚大な人的被害が想定される南海トラフ巨大地震を前に、医療に関する対策についても具現化する必要がある。

活動予定

災害医療活動における迅速な医療チームの参集や医療搬送体制等について『南海トラフ地震における初動時医療対策のあり方』としてとりまとめを検討する。

構成員

東海北陸厚生局、中部ブロックDMAT連絡協議会、中部地方整備局、中部運輸局、陸上自衛隊第10師団、愛知県、岐阜県、静岡県、三重県、日本航空(株)中部地区、太平洋フェリー(株)



2013広域医療搬送訓練(愛知県)